

(1) 明治天皇記念館全景。

明治天皇記念館新築工事概要

設計 大阪市役所營繕課

施工 池田榮三郎

位 置 大阪市北區新川崎町泉布觀苑内

兩側部分 11.75米

建築面積 延坪 1010.5平方米（但し玄關、廻廊、石階を含む）

基礎深地盤より 2.35米

一部 3.0米

内 譯

地 階 64.80平方米

各室の配置

地 階 下足室 物置 電氣室

壹 階 455.77平方米

一 階 講 堂 控 室 小使室

中 二階 86.01平方米

便 所

二 階 403.92平方米

中二階 事務室 物置 映寫室

建物間口 25.2米

二 階 陳列室 應接室 圖書室

奥 行 16.2米

ヴエランダ

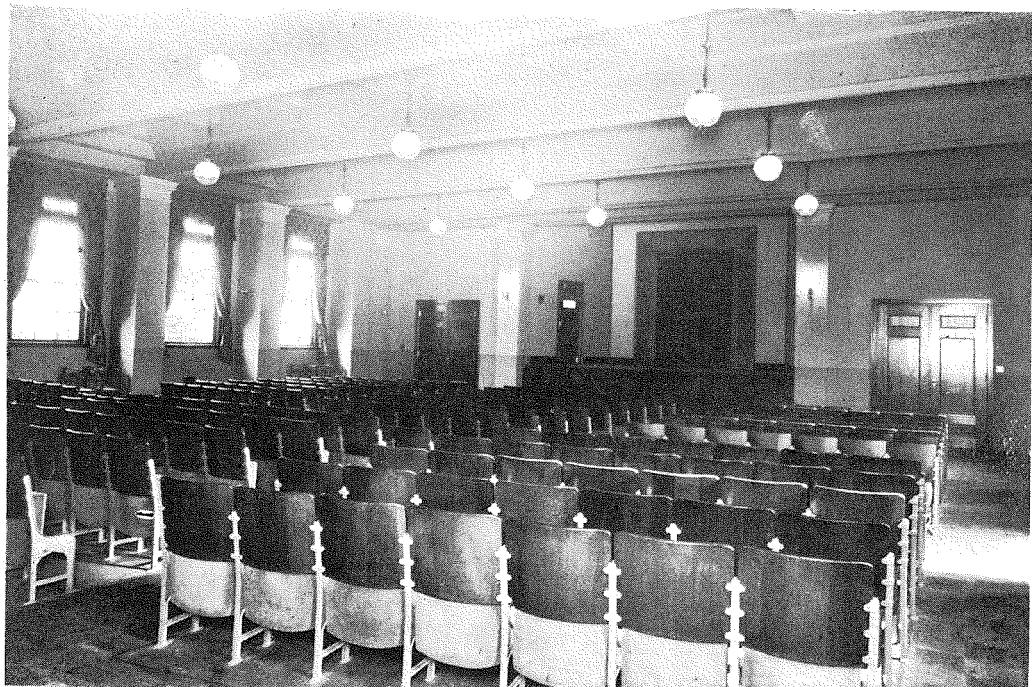
建物高さ

軒高地盤より 中央部分

13.15米

各室の概要 一階講堂は其面積 280 平方米

にして 302 人の椅子席並に、22 平方米の演壇



(2) 明治天皇記念館 1階 講堂

を有し活動寫真映寫の設備あり、二階陳列室は天窓によつて、採光して壁面の利用を計り、ヴエランダは附近の景色を俯瞰するに便ならしむ。

正面玄關の概要 正面立關の石造柱列、ベティメント腰廻り、入口窓廻りは元造幣寮鑄造所の玄關にして、造幣局改築に當り譲り受けしものなり、之は明治三年の建築に關り、我が國最初の洋風建築として珍重すべきものなると共に、數度行幸に當り觀覽を給はりたる由緒深き記念物なり。

構造大要

様式 古典式

構造 鐵骨鐵筋凝土造二階建 一部中二階及地階付

基礎 布基礎鐵筋コンクリート地形とす

外装 正面玄關石造(元造幣寮鑄造所のもの)

外壁 人造石小叩き仕上

腰 石張(元造幣寮鑄造所のもの)

屋根 陸屋根 アスファルト防水層を施し、立關屋根は銅板瓦棒葺き、モルタル目地切一部天窓屋根。

窓及出入口 立關扉は元造幣寮鑄造所のものにして石材と共に譲り受けしものなり。

其の他入口及窓は總て鐵網入硝子を嵌め込む。

室内仕上

講堂 天井はプラスターベンキぬり仕上にして、スタンプ模様入り、壁防音材塗り、腰、麻布張りベンキ、床フロアリングブロック敷き

二階陳列室 天井テツクス張り、ベンキ仕上其の他講堂に同じ

應接室並圖書室 陳列室同様にして、床は、リノリュムタイル敷きとす

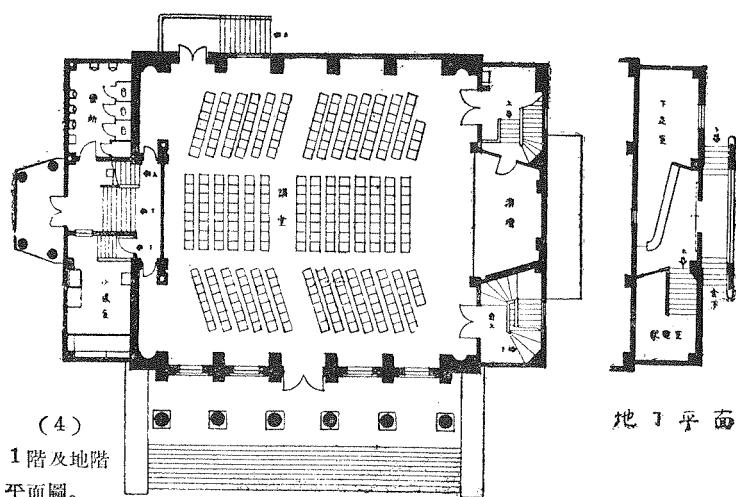
其他事務室及物入 天井白セメント吹付壁
プラスター仕上にして、便所腰タイル張とす

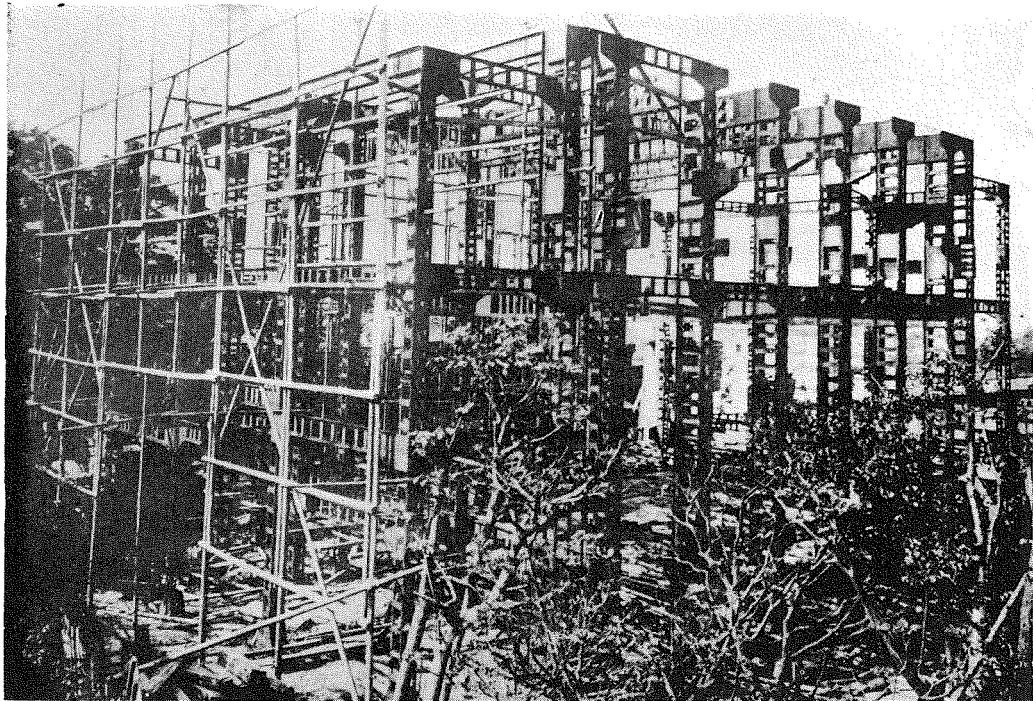


(3) 明治天皇記念館天井の一部。

設備大要

- 暖房設備 電熱暖房による
- 給 水 市水道より各所に配給す
- 衛生設備 大便器和風二個、洋風一個
小便器ストール六個

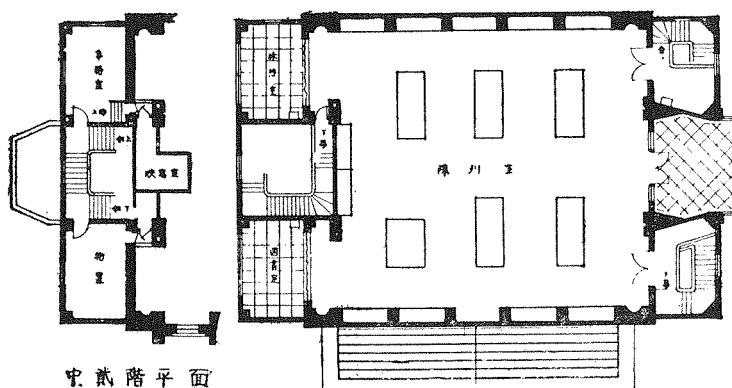




(5) 鐵骨構築中の明治天皇記念館。

汚水淨化槽及處理 各便所は水洗式とし汚水は便所床下に設けたる淨化槽に流入す

電氣設備 大阪市電氣局より供給を受け地階に變壓室を設け各配電盤により配電をなす



(6) 2階及
中2階平面圖。